

令和6年度担い手支援策のご紹介

JA 全農にいがたでは、担い手の皆様の所得増大等をめざし、様々な支援策を実施しております。令和6年度の支援策の一部をご紹介しますので、ぜひご活用ください。

(詳しくは、お近くのJAにお問い合わせください)



部門	実施策	概要
園芸	園芸新規導入・定着支援	園芸品目・品種・作型・技術の令和6年度新規導入および令和4年度以降に新規導入した品目を継続作付けする場合、初次的経費（生産費、施設等修繕費）の1/4を助成。
畜産	県産雌肥育素牛導入支援	JA全農にいがた素牛市場から雌子牛（肥育のみ対象）を導入した場合、一頭あたり12,000円を助成。
肥料 農薬	肥料農薬直送対策	新潟東港地域のメーカー工場・SP倉庫、本会SP倉庫から4トン車以上（肥料180袋/20kg以上）の満車による直送に対し特別価格を適用。
	園芸関係生産組織育成肥料農薬支援	園芸作物の部会（生産組織）単位でとりまとめた肥料農薬に対し、特別価格を適用。
	大型規格農薬の拡大	大型規格によるスケールメリットをはかるため、県内需要の多い210規格を設定。
	⑨配合肥料のフレコン品の拡大	⑨配合肥料のフレコン品に対し、特別価格を適用。
農業 機械	共同購入第3弾「共同購入コンバイン」によるコスト低減	農機の「共同購入」とは、全国農業者アンケートで積み上げた購入意向台数や仕様・機能要望にもとづきメーカーに開発要求した上で、全農が大量・一括購入することで、より低価格で供給する取り組み。 第3弾「共同購入コンバイン（4条・48馬力）」として、令和6年4月から取扱開始。 ヤンマー「YH448AEJU」：メカ希望小売価格670万円（税抜）（同クラスの従来機比で概ね▲15～18%の引き下げ）

(担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)